



OpenShift Dedicated 4

Web コンソール

OpenShift Dedicated Web コンソールのスタートガイド

OpenShift Dedicated 4 Web コンソール

OpenShift Dedicated Web コンソールのスタートガイド

法律上の通知

Copyright © 2020 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書では、OpenShift Dedicated Web コンソールにアクセスする方法を説明します。

目次

第1章 WEB コンソールへのアクセス	3
1.1. WEB コンソールの理解および WEB コンソールへのアクセス	3
第2章 WEB コンソールの DEVELOPER パースペクティブ	4
2.1. DEVELOPER パースペクティブへのアクセス	4

第1章 WEB コンソールへのアクセス

OpenShift Dedicated Web コンソールは、Web ブラウザーからアクセスできるユーザーインターフェースです。開発者は Web コンソールを使用してプロジェクトのコンテンツを視覚的に把握し、参照し、管理することができます。

前提条件

- Web コンソールを使用するために JavaScript が有効にされている必要があります。WebSocket をサポートする Web ブラウザーを使用することが最も推奨されます。
- 「[OpenShift Container Platform 4.x Tested Integrations](#)」のページを確認してから、クラスターのサポートされるインフラストラクチャーを作成します。

1.1. WEB コンソールの理解および WEB コンソールへのアクセス

Web コンソールはマスター上で Pod として実行されます。Web コンソールを実行するために必要な静的アセットは Pod によって提供されます。OpenShift Dedicated が正常にインストールされた後に、Web コンソールの URL およびインストールされたクラスターのログイン認証情報を、インストールプログラムの CLI 出力で確認します。例:

```
INFO Install complete!  
INFO Run 'export KUBECONFIG=<your working directory>/auth/kubeconfig' to manage the cluster  
with 'oc', the OpenShift CLI.  
INFO The cluster is ready when 'oc login -u kubeadmin -p <provided>' succeeds (wait a few minutes).  
INFO Access the OpenShift web-console here: https://console-openshift-  
console.apps.demo1.openshift4-beta-abcorp.com  
INFO Login to the console with user: kubeadmin, password: <provided>
```

これらの詳細を使用してログインし、Web コンソールにアクセスします。

第2章 WEB コンソールの DEVELOPER パースペクティブ

OpenShift Dedicated Web コンソールは、**Administrator** パースペクティブと **Developer** パースペクティブという2つのパースペクティブを提供します。

Developer パースペクティブは、以下を実行する機能を含む、開発者のユースケースに固有のワークフローを提供します。

- 既存のコードベース、イメージ、および Dockerfile をインポートして、OpenShift Dedicated でアプリケーションを作成し、デプロイします。
- アプリケーション、コンポーネント、およびプロジェクト内のこれらに関連付けられたサービスと視覚的に対話し、それらのデプロイとビルドの状態をモニターします。
- アプリケーション内のコンポーネントを分類し、コンポーネントの接続をアプリケーション内で、また複数のアプリケーションにまたがって実行します。
- Serverless 機能 (テクノロジープレビュー) を統合します。
- Eclipse Che を使用してアプリケーションコードを編集するためのワークスペースを作成します。

前提条件

Developer パースペクティブにアクセスするために、Web コンソールにログインしていること。

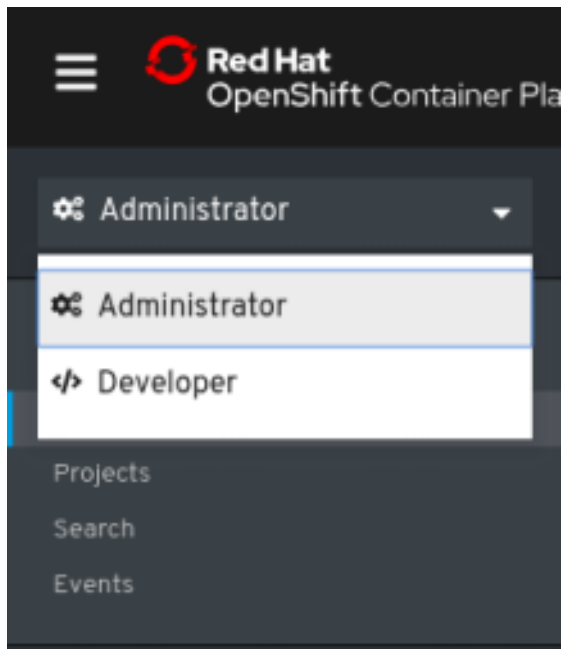
2.1. DEVELOPER パースペクティブへのアクセス

OpenShift Dedicated Web コンソールの **Developer** パースペクティブは、開発者のユースケースに固有のワークフローを提供します。

以下のように、Web コンソールから **Developer** パースペクティブにアクセスできます。

手順

1. ログイン認証情報を使用して OpenShift Dedicated Web コンソールにログインします。OpenShift Dedicated Web コンソールのデフォルトビューは **Administrator** パースペクティブです。
2. パースペクティブスイッチャーを使用して、**Developer** パースペクティブに切り替えます。**Topology** ビューがアプリケーションを作成するオプションと共に表示されます。



追加リソース

- [Developer](#) パースペクティブを使用して OpenShift Dedicated でアプリケーションを作成し、デプロイする
- [Topology](#) ビューを使用してプロジェクトにアプリケーションを表示し、デプロイメントのステータスを確認し、それらと対話する